

●施策名

【施策6】高度情報化社会を主体的に生きていく力をはぐくみます

(関連指標：指標36～指標37 (P54))

- i 情報活用能力の育成
- ii 情報モラル教育の充実
- iii 教育の情報化に関する基盤整備
- iv 公立大学法人への支援を通じたコンピュータ理工学の教育、研究等の推進

●代表的な取組の進捗状況

i 情報活用能力の育成

○ 情報化対応研修の充実

全ての教員がICTを活用して指導できるようにするため、教員研修の充実を図る。

(H26実績)

教育センターにおいて、「校務処理に生かす表計算」等のICT関連の教員研修講座を7つ開講し、教職員のICTに関する専門性を高めた。

ICTを活用して指導できる教員率(公立小・中・高・特別支援学校)

(H26実績) 福島県：69.8%、全国平均：74.9%

ii 情報モラル教育の充実

○ 情報モラル教育に関する教材の開発や実践事例の提供等

情報モラル教育に関する教材の開発及び既存の教材の活用法等実践事例の提供を通して、情報モラル教育の充実を図る。

(H26実績)

SNSいじめ等研修会(3回)の成果物について県教育委員会のHPへ掲載し、県内全公立学校へ周知し、情報モラル教育の推進を図った。

iii 教育の情報化に関する基盤整備

○ うつくしま教育ネットワーク事業

学校を含めた教育文化機関に安全で安定したインターネット利活用環境を提供する。さらに授業等でのネットワークの使用量増加に対応するためのシステム改良、情報セキュリティの維持、有害情報の遮断、テレビ会議システムの運用などの支援を行う。

(H26実績)

・ ネットワークの使用量増加に対応し、機器更新と回線の見直しを行った。

・ フィルタリングの適正化として、教師レベルの設定を導入した。

・ クラウドコンピューティング技術の活用や導入について検討し、Google Appsの検証を開始した。

○ 県立学校校内LAN整備事業

情報資源を効果的に利用できる学習環境を実現するため、校内LANシステムの整備及び保守を行う。

(H26実績)

整備済みの校内LANシステムのセキュリティ対策、障害発生時の対応、老朽化した校内LANシステムのサーバー更新を行った。

●問題点・改善等が必要な項目

① 情報活用能力の育成

- ・ 教員のICT活用指導力の向上。
- ・ 携帯電話等の情報機器に対する科学的な理解促進と、情報モラル教育のより一層の充実。

② 教育の情報化に関する基盤整備

- ・ ネットワーク安定運用のため、老朽化した機器の更新や維持・保守管理費用の確保。

●取組の方向性

① 情報活用能力の育成

- ・ 教育センターにおける研修において、ICT機器の活用アイデアについて協議し、意識の向上を促す。また、「学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」をもとに、学校への啓蒙を図る。
- ・ 児童生徒の実態に応じた指導ができるよう、情報モラル指導資料の充実及びホームページでの公開を進める。

② 教育の情報化に関する基盤整備

- ・ クラウドまたはデータセンター移行により、自前の設備を持たないことで、コストを平準化する。